

八幡市文化センター ホール利用について

ホールにおいても、感染症防止対策として「社会的距離の確保」、「マスクの着用」、「三密の回避」等、以下の事項を含めてご利用を計画し、当館との打ち合わせを事前に行ってください。

京都府の9月19日以降のイベントの開催制限等については、当館のホールではロビー、ホワイエ、トイレなど密を回避することが難しいと想定されるため、客席数は原則約半数の利用といたします。

ただし、主催者が徹底した感染防止策を講じ、来場者に大きな声での発生などないことを前提に主催者、会館双方が可能と判断した場合は、客席の収容率を緩和する場合があります。

合唱や演劇など大きな発声、管楽器の演奏については、リハーサル、本番を問わず事前に十分な感染防止策の検討をお願いします。

【事前準備】

- 平熱より高い発熱（目安として37.5℃以上）の場合は、来館しないでください。
- 施設内に入られる全ての方に、咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指の消毒の徹底をお願いします。
舞台上の公演者についても、表現上困難な場合を除きマスクを着用ください。
- 社会的距離の確保、密閉・密集・密接・飛沫感染などを回避ください。
- ホワイエ入口（大ホール）、エレベーターホール（小ホール）、楽屋・控室等の消毒液は主催者での設置をお願いします。
会館入口2カ所、舞台下手袖（大小ホール）、楽屋入口（大ホール）につきましては文化センターで設置します。
- 主催者、出演者（保護者・付き添い・見学含む）、表方・裏方スタッフ、来場者の氏名及び緊急連絡先を把握し、利用者名簿（別紙③）の提出をお願いします。
- 当館会館職員との打ち合わせについては、マスクを着用し、最少人数で実施してください。

- 主催者は、チラシ、ホームページなどで来場者にマスクの着用、入場時の検温実施、発熱など体調不良時の場合入場をお断りする旨など周知してください。
- 接触確認アプリCOCOA、こことろなどのダウンロードを促進してください。
- 1000人規模を想定している催し物を予定している場合は、必ず京都府相談窓口にご相談を行ってください。

【舞台】

- 感染予防のため会館舞台スタッフも、マスクもしくはフェイスガード着用手指消毒をしています。主催者発注の舞台スタッフにも感染症対策について事前に指示をお願いします。
- 仕込み、リハーサル、本番、休憩、撤去において、十分な時間を設定し密な空間の防止に努めてください。
- 舞台袖における出演者の待ち、入りハケ時の距離確保の対策をお願いします。
- 来場者と接触するような演出は行わないでください。

【楽屋・控室等】

- 時間差など段階的な会場入りを工夫してください。
- テーブル、椅子等の物品の消毒を適宜行ってください。
- 楽屋等のゴミについては、当面の間、すべてお持ち帰りください。
- 窓・扉を開けるなど十分換気を行ってください。
また、周辺の住民の方に迷惑にならないよう、会話・音などの配慮をお願いします。
- ポット、湯飲み、やかんの貸し出しは不可とします。

【ロビー・ホワイエ】

- 距離を保ちながらの入退場は、時間がかかる可能性が高いため開場・終演時間に余裕をもつなど、仕込み時間を含めてタイムスケジュールを作成してください。
また、トイレなど密になることが想定されますので、休憩時間なども十分配慮してください。
- 来場者に入場口で検温を実施し、平熱より高い発熱（目安として37.5℃）の場合、入場をお断りください。
- 開場時、チケットのもぎりがある場合は、マスク・手袋を着用してください。
また、来場者が自身で半券を切って箱に入れるなど、接触の機会を減らすよう工夫をしてください。
- パンフレット、チラシ、アンケート等は極力手渡しによる配布は避け、プレゼント、差し入れ、出演者の出待ち・面会等は控えるようご案内ください。
- パンフレット等の物販を行う場合、距離を保って整列してください。対面で販売を行う場合、アクリル板や透明ビニールカーテンにより購買者との間を遮蔽してください。

【客席】

- 別途客席配置図をご参照ください。（588席）
- 利用する客席が配置が客席配置図と異なる場合や現在の客席配置図以上の来場を想定する場合は、必ず事前に会館にお申し出ください。
なお、客席の利用不可の標示物は、主催者でお戻しください。

【施設内の換気】

- 空調は停止することはできません。
- 仕込み・リーサル、開場前、終演後は客席扉を適宜開放して換気を行ってください。本番についても適時休憩を取って換気を行ってください。